

2019-11-8 ITMY 接続手順メモ

2018年11月3日 18:18

= 現状 =

1. BF-GAS-keystone: keystone-ring (上側)にぶつかっている状態。なので、ロッドは外れないはず。
2. BF-LVDT-V のprimary coilうち、二つがsecondary coilに触っていて、現状以上にBF-bodyは持ち上がらない状態。
3. アルミの重りがBF-capの上に乗っている状態で、押しボルトの上に着座している。(再度ストッパーも留まっている。)現在は、3点平均で70mm.
4. payloadからのケーブルは、EQ-plateまで伸びている。

= 11/8(木)の手順確認 =

1. payload をリリースしてもらい、BF-keystoneに荷重をかける。
2. F0-keystoneをリリースする。
3. F0-Yaw stepper motor 機構を取りつける。この際、押しネジの長さを変えないこと。また、現在はケーブルタイにてYaw方向のねじれを留めているので、このケーブルタイを外した際に、key-stoneが回らないように気を付ける。
4. F0-keystoneの高さが、もともとの位置に戻り始めたら、keystoneに取り付けている長ネジを、本来の短いものに取り換える。
5. keystone-ring(上側)から測って、16mmがターゲットの値。まずはこれに合わせる。
6. F0-Yorkを磁石にて、コイル(上)側に取り付ける。(現在はケーブルをまとめているリングに乗っているため、このままでは、余計な重りが加わってしまう。)
7. BF-bodyを支えている、押しボルトを調整して、BF-bodyの高さを、3点平均で、60 mmに合わせる。BF-GASのLVDTのデジタル上での読み値は、1000 countsに対応している。
8. BF-bodyを固定する。下から押しボルトと、横からの再度ストッパーにて。アルミの重りを載せていれば、BF-bodyは浮き上がらないはず。
9. payloadの荷重調整をしてもらう。このときBF-bodyは固定したまま。(精度は200g程度であってればよい。)
10. payloadをリリースして、鏡の高さを測定してもらう。
11. payloadの重りを固定してもらう。
11. BF-bodyが当初のターゲット値(60mm)から何mm高く/低くしなければならないか、記録する。
12. BF-bodyの下側の押しボルトにて、その高さにBF-bodyの高さを調整する。
13. payloadのケーブルをBF-capのコネクタに固定(接続)する。
14. (時間があるようであれば、BF-bodyの高さをF3/F2/F1のFRにて調整する。動かす順番はF3/F2/F1。今まではこの調整は、F0のFRを使っていたが、ITMY-F0のGASがかなり固いため、今回、F0のFRはあまり使えない。)



